

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2025 年 12 月 15日

事業所 Kids合

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	4	指導訓練室を広く使えるように収納スペースを別に備えている	昼食時等に使用する、長机の収納スペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切である	2	4	5	経験豊富な児童指導員が新規入職者のフォローをしている	人員配置は満たしているが、児童の特性や療育活動の内容によっては、基準以上の人員配置をできるようにする
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	4			バリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	8		正職員が研修を受講している	研修内容を事業所内のミーティングで、全職員に共有する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	4		正職員が保護者の意向を把握している	保護者等の意向を全職員で共有し、意向に沿う支援を行うためのミーティングを実施する
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	5			法人のホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3		適宜、支援に必要な研修を受講している	適切な支援を行うために障害に対する理解を深める研修を実施・受講する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	2		定期的なモニタリング以外にも、日常の変化・変更点等の連絡をこまめに行っている	保護者・本人の意向や現状を踏まえて、専門職も交えて個別支援計画を
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3		アセスメントツールを定期的に見直しを行っている	定期的にモニタリングを行い、達成、一部達成、未達成の確認と、達成できるための支援方法を全職員で検討する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	5		児童指導員・保育士を中心として、立案している	立案を実行に移し、定着するまでの期間を短くする
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	1	音楽療法やハートサインダンス等の療育をとりいれて	曜日ごとにプログラムの内容を変えて、色々な活動ができるようにする
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	8		平日は限られた時間でできる課題を行っている。休日は外出等平日に行えないことを中心に支援している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	6		一人ずつできる制作活動と、体を動かすことを中心とした集団活動を行っている	全体のできる活動のレパトリーを増やす
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	6	1	出勤している職員間で打ち合わせをし、支援内容を共有している	支援内容だけでなく、担当者を明確に役割分担を行う

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3		特記事項がある場合は、日報に記録して、共有している。	送迎後に常勤職員が中心となって、振り返りを行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	3		誰が読んでも状況がわかるように記録している	事実に基づいた客観的な記録をするように心がける。変化に気づけるような記録をとり、支援の検証・改善を行う。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	4			年2回のモニタリングを行っている。前期後期の支援計画書を作成している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	6		児童の特性に応じた活動ができるように、活動を行っている	集団活動と、一人ずつできる制作活動をしている。また体を動かす活動と、静かにできる活動をしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	5			管理者、主任が必ず出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	4		必ず、学校迎え時に先生と話をし、その日の状況を聞いている	送迎時に先生と話をし、申し送りを受けて、連絡調整などを行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	4	2		現時点で医療的ケア児の受け入れはないが、喀痰吸引等の対応ができる職員を配置している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5	2		児童発達支援事業所や相談支援事業所から、児童の情報を引き継ぎ、事業所内で共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	7	1		相談支援員がいる場合や学校でのケース会議がある際は放課後等デイサービスでの様子を伝えている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2		公認心理師と連携して、助言を受けている。	児童発達支援センター主催の研修や、法人内の地域療育センター職員による研修を受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	1		直接的な交流会はないが、児童館や公園などで地域の児童と一緒に遊ぶ機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	3			法人としては参加しているが、Kids合としては参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	5			連絡帳でのやり取りや送迎時に保護者と話をし、その日の状況を伝えている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6		個別療育ではペアレント・トレーニングを行い、家庭での療育指導に注力している	個別療育ではペアレントトレーニングを必須で行っているが、集団療育では家庭ウでできる支援方法や、相談に対して一緒に考え話し合っている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	2			管理者と児童発達支援管理責任者が契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	5			連絡帳等で相談があった場合には、連絡帳に助言等を記載したり、送迎時に保護者に直接、助言・支援をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			7	3		父母の会はないが、年に一回、保護者会を開催して、保護者間の交流を図っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	3				苦情があった保護者(子ども)に対し、速やかに管理者から連絡を入れて、その内容を事業所内で共有し、対応を話し合う。その結果を報告書にあげ、法人内で共有する。最終的に保護者へも解決策を連絡する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	4				月に1回、Kids合だよりを発行して、活動内容と次月の予定をお知らせしている
	35	個人情報に十分注意している	9	1				個人情報は鍵付きの書庫に保管し、外部への持ち出しを禁止している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	2				保護者へは伝達内容に応じて、連絡先を変える等配慮している。子どもについては、障がいの特性に応じて、言葉だけでなくジェスチャーでやり取りをしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5	2			事業所の行事に招待まではできていないが、ホームページやインスタグラムで広く公開している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	3				マニュアルは作成しており、職員は閲覧できるようにしている。保護者へは必要事項をピックアップして
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	2				月1回の避難訓練、本部での訓練に参加している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2				虐待研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	5				拘束があった場合、保護者に伝えている。報告書の提出をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	4				アレルギーのある子については、保護者から医師の指示書の内容を聞き、対応している
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	5				ヒヤリハット報告書を記入するようにしている。全員確認するようにしている	